

# うじたわら

## 議会だより

No. 98  
2019.2.1



### 《目次》

臨時会.....	2 p
定例会.....	3 p~4 p
表決結果.....	5 p
一般質問.....	6 p~14p
インタビュー(井山大登さん).....	15p

### =成人式=

新春の良き日 希望に満ちた成人達  
賑やかに 晴れやかに

# 第2回臨時会

平成30年第2回臨時会は11月15日に招集され、会期を1日とし、教育長の任命、後期議会人事について審議した。



議長 谷口 整



副議長 山内実貴子



監査委員 田中 修

# 後期 議会構成決まる

委員会	職名	氏名
総務建設常任委員会	委員長	谷口 重和
	副委員長	藤本 英樹
	委員	今西 久美子
	委員	田中 修
	委員	馬場 哉
	委員	谷口 整
文教厚生常任委員会	委員長	原田 周一
	副委員長	浅田 晃弘
	委員	山内 実貴子
	委員	山本 精
	委員	垣内 秋弘
	委員	松本 健治
	委員	馬場 哉

職名	氏名
京都地方税機構議会議員	藤本 英樹
後期高齢者医療広域連合議会議員	浅田 晃弘
城南衛生管理組合議会議員	原田 周一
	馬場 哉

### 議会運営委員会

- 委員長 松本 健治
- 副委員長 今西 久美子
- 委員 山内 実貴子
- 委員 原田 周一
- 委員 谷口 重和
- 委員 浅田 晃弘
- 委員 山本 精
- 委員 今西 久美子
- 委員 馬場 哉
- 委員 松本 健治
- 委員 藤本 英樹

### 広報編集委員会

## 12月定例会

平成30年第4回定例会は12月5日から19日まで開催した。予算関係5件(補正予算)、条例関係3件(改正3件)、一般議案5件、人事案件2件(公平委員会委員の選任)、決議案1件(小中一貫教育に関する特別委員会設置)について提案があり、原案どおり可決した。一般質問には8人がたが、活発な議論を展開した。

### 総務建設常任委員会

南北線道路工事(その2)請負契約の締結(議案第79号)

ボーリング調査結果から、コンクリート片があつても安定地盤という判断は行っていない。地山の地盤まで杭を打つため、高止まりすることはない。

南北線の施工について、新庁舎建設に係る地質調査の結果を反映し、安全は確保されるのか。設計は道路構造令に基づいて実施し、工事は路面から路床部の土を入れ替えるため安全に問題はない。

新庁舎建設工事請負契約の締結(議案第80号)

玉石やコンクリートの大きな塊に突き当たると、基礎杭が高止まりする危険性はないのか。予定価格の事前公表のメリットは、予定価格を探索行為を防止できると、デメリットは、積算

調整池について、開発に伴う整備という理解

中央公園調整池整備工事請負契約の締結(議案第81号)

能力が不十分でも価格の想定ができてしまうことが挙げられる。下流の田原川、糠塚川、袋谷川に負担をかけるように整備する。府の基準に基づき、1haを超える開発の場合は調整池が必要となる。

### 反対討論

町の地質調査結果を見ると、盛土の高低差は、地震の揺れにも差を生じさせ、基礎に悪影響を及ぼす、また液状化の危険性も指摘があり、地盤沈下も考えられるなど不安がある。近年の地震被害を教訓とするなら、より強固な地盤であることが必要。

今西久美子議員

### 人事案件

○公平委員会委員の選任同意

浅田 昭 兵氏(湯屋谷)



任期 平成30年12月22日～平成34年12月21日

植村 良 信氏(高尾)



任期 平成30年12月19日～平成32年12月21日

定例会

臨時会



新庁舎建設予定地

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・―欠席]

Table with columns: 種別 (11月臨時議会, 人事, 決議, 予算, 条例改正, その他), 議案番号, 議案名と内容, 賛成討論, 反対討論, 結果, 山内, 山本, 今西, 垣内, 田中, 原田, 馬場, 松本, 谷口重, 浅田, 藤本.

◎谷口重議長は賛否同数以外は表決に加わりません

予算特別委員会

危険なブロック塀撤去に補助 田原小学校のブロック塀も改修



改修される田原小学校ブロック塀

今定例会に提出のあった補正予算5議案(一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計)並びに条例の一部改正3議案を審査し、全て可決すべきものとしました。主な質疑は次のとおり。

町職員の給与に関する条例の一部改正(議案第72号) 職員給与が国準拠の考え方なら給料表を6級ではなく、7級までにすべきでは。府内で7級まで設定しているのは、11町村中3町。給料表、手当等に

特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正(議案第73号) 財政が厳しい折、特別職の報酬を減額している自治体もある。報酬等審査会での意見はどうだったのか。近隣自治体の特別職の給料額、社会経済情勢等をもとに期末手当も含め、トータルで審議いただいた。

平成30年度 各会計別補正予算 (千円以下切り捨て)

Table with columns: 会計名, 補正額, 補正後の予算総額. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 公共下水道事業特別会計, 水道事業会計 (収益的, 資本的).

反対討論

(議案第73号) 特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正 先目示された財政状況によれば、今後本町は非常に厳しい財政運営を迫られることとなる。そんな中で、特別職の期末手当を、さらに引き上げることにについては賛成できない。

山本精議員

定例会

表決結果

# ズバリ! 町政を問う

12月10日



## 一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 松本健治 (7p)	1. 平成31年度予算と重点施策について 2. 新教育長の任命と教育行政の課題について 3. 自然災害への対応について
2 藤本英樹 (8p)	1. 防災情報について 2. 農業支援について
3 浅田晃弘 (9p)	1. 健康づくりについて 2. 暮らしの環境について
4 今西久美子 (10p)	1. 小中学校施設一体型について 2. 住民の声を生かした町政運営について

質問者	質問事項
5 垣内秋弘 (11p)	1. 平成31年度予算について 2. 自治功労者表彰について 3. 教育問題について
6 山本 精 (12p)	1. 雇用問題について 2. 防災対策について
7 馬場 哉 (13p)	1. 町内在住の外国人について 2. 消費税の税率改定に伴う影響について 3. 新名神宇治田原ICアクセス道路について
8 原田周一 (14p)	1. 森林管理経営について 2. 水道事業の広域化について

## 傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88-6641) までお問い合わせください。

## 平成31年度予算と重点施策は



松本 健治 議員

## 自然災害の教訓を活かせ

【答】貴重な教訓を防災対策に活かす

【質問】平成30年度は本町の未来への足がかりとなる時期でもあり、①みちづくり②拠点づくり③未来づくりを「最重要の三本柱」として、果敢に各種事業に取り組んでいる。

【答弁(町長)】次年度は「第5次総合計画前期基本計画」の満了年、また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の

【質問】小中一貫教育(施設一体型)に向けて

【答】次期基本計画に位置づける

【質問】自然災害の教訓を活かせ

【答弁(副町長)】今年度は自然災害の年となった。本町でも豪雨や台風の被害に見舞われた。特に高尾では生活道路が3カ月にわたって通行止めとなり、その間停電と重なり、二重苦の生活を余儀なくされた。町道の復旧までの取り組みを貴重な教訓として、今後の防災対策に活かしていく。



新庁舎など大型事業も輝かしい将来への投資に(新庁舎イメージ図)

【質問】教育委員会では長年の課題である小中一貫教育の施設一体型の方向性が示され、説明会が実施されている。課題整理をキッチリ行い、さらに住民への説明・意見交換が必要である。

【答弁(副町長)】次年度には各種計画の満了を迎える。新庁舎建設計画や小中一貫教育などは具体化していなかったものも次期基本計画に想定される重要な施策課題を議論し、新たな時代のまちづくりにふさわしい総合計画に位置づけていく。



厳しかった自然災害も重要な教訓に(通称・高尾道)

一般質問

一般質問

# 災害時の情報共有化を

## 【答】必要な情報を提供、共有していく



藤本英樹 議員

【質問】 日の猛暑日、相次ぐ台風、大阪北部地震に始まり、西日本豪雨災害、連日、上陸と自然災害が多発し、た今夏であった。

本町でも、大規模な土砂崩れや停電により高尾地区住民の暮らしに大きな支障をもたらした。

【質問】 現在の情報提供は広報車や避難所開設を通知するものが主であるが、行政関係者にはこれ以上の情報が入っていない。

また、倒木や農業施設にも被害をもたらし、9月定例会でも多くの議員が一般質問で取り上げ、関心の高さが伺い知れた。

一時避難所開設や被災者、民家被害の有無など具体的な情報を時系列に取りまとめ、区長や議員など行政関係者に周知できないか。

【答弁(総務課長)】 広報車による広報活動、緊急速報メール、サイレンの吹鳴、自主防災会の連絡網を活用し情報伝達を行っている。

【答弁(総務部長)】 屋外長距離スピーカーを各小・中学校、総合文化センターに整備し、既存の情報伝達システムとともに有効活用し、今後は必要な情報を提供し、積極的に伝達していく。



総合防災訓練時の情報収集会議

【質問】 野焼きは法律で禁止されているが、例外規定もある。

【答弁(建設環境課長)】 チラシの配布、HPへの掲載や提案のQ&A方式などを含め、理解を深めてもらうための取り組みを進めていく。



被災したパイプハウス

# 自然災害の農業施設被害支援を

## 【答】農家に寄り添った支援を進める

【質問】

今夏は自然災害が多発したが、パイプハウスなどの施設や、農産物の被害状況は。

の復旧費の他に、農産物が減少し二重被害となってしまう。国や府の補助金の他に、町独自の支援策を検討できないか。

【答弁(産業観光課長)】 パイプハウスやきゅうり棚などの施設被害で約238万円、農作物についてはネギの倒伏等約1,100万円であった。

【答弁(副町長)】 京都府の災害復旧支援や、償還に対する助成金がある有利な貸付制度を紹介するなど負担軽減に向けて相談に応じている。今後も関係機関と連携し支援を進めていきたい。

# 健康づくりの習慣を

## 【答】健康づくりの輪を広げる



浅田晃弘 議員

【質問】 ウォーキングの習慣化を促すために行われた「宇治田原ウォーク8800」の開催の手応え、反省を通じて、健康づくりを習慣化するための今後の展開は。

【答弁(健康児童課長)】 このイベントには、13名の方にご参加いただいた。

【答弁(町長)】 提案の「健康づくり支援員」はまさしくその輪を広げる役割を担える方法と考える。

一過性とならないために健康づくり応援ポイントキャンペーンを開始し、ウォーキングの習慣

【質問】 病気を未然に防ぐ取り組みを広げるため、住民の方々に病気予防の事業に巻き込んでいく取り組みが必要ではないか。

【答弁(建設環境課長)】 チラシの配布、HPへの掲載や提案のQ&A方式などを含め、理解を深めてもらうための取り組みを進めていく。



日本語と中国語の看板が並んだ集積場

# 地域の生活環境の維持は

## 【答】チラシ等で周知していく

【質問】

野焼きは法律で禁止されているが、例外規定もある。

【答弁(副町長)】 外国人住民が、地域社

【質問】 野焼きは法律で禁止されているが、例外規定もある。

【答弁(副町長)】 外国人住民が、地域社

【質問】

【答弁(副町長)】

外国人住民が、地域社

外国人住民が、地域社



たくさんの方が参加した「宇治田原ウォーク8800」

# 学校が災害想定区域でいいのか

## 【答】安心・安全な施設整備を検討する

【質問】

2024年に2つの小学校を統合し新設するとしているが、予定地の維孝館中学校周辺は土砂災害警戒区域である。わざわざ危険なところに移動してまで一貫教育を進める必要があるのか。

【答弁(町長)】

子どもたちだけでなく、住民の安心・安全の確保は何より重要。今後、安心・安全な施設整備について、協議・検討する。

【質問】

教育委員会は「小中一貫教育や、将来の小中学校施設のあり方等について、町民の意見を伺うとともに丁寧な説明に努め、方針を定めたい」としてきたが、今回の施設一体型については、住民に説明もせず、意見を聞くこともなく決定された。決定のしかたに問題はなかったか。

【答弁(学校教育課長)】

教育的視点からまとめた結果を方向性として示した。説明もせず、意見を聞くこともなく決定された。決定のしかたに問題はなかったか。



今西久美子 議員

すことが教育委員会の責務であり、たたき台として今後の議論を深め、さらに検討を重ねていくことが重要と考えている。

【質問】

説明も議論も不十分なまま、地域の小学校をなくす、そんなことで今後、住民の理解や協力が得られるのか。人口を増やすとしている人口ビジョンについても全く議論されず、子どもの数が減ることだけを前提に議論されてきた。新教育長のもと、一体型決定ありきでなく、再度議論を。【答弁(教育長)】

方向性は、①小中一貫



地域から小学校をなくしていいのか

教育②児童数③地域の3つを教育的視点から考察し、総合的に導き出した

もの。現状の方針通り進めていく。

## まちづくりに住民の声を【答】声を聞く機会の拡大に努めている

【質問】

まちづくりに住民の声を十分反映させることが必要。町の説明は、決まったことを報告するものでしかない。決める前にもっと住民と対話すべきでは。

【答弁(総務課長)】

町の施策は、行政の責任で案を作成し、住民に示すことが原則。意見募集や会議の公開に取り組み中で、住民の声を聞く機会の拡大に努め、広報・広聴に取り組んでいる。

# 「消費税10%」どうなる水道料金は

## 【答】引き上げ時期に合せ料金改正する

【質問】

平成31年10月から消費税が10%に増税されるが、上下水道料金についてはどのように考えているのか。

【答弁(町長)】

せ料金改正を行う。災害が多発する中、住民への安心・安全は一刻の猶予も許されない。過去の災害対応予算は少額であり予算段階で増額を。

あるが当初予算編成の中

で前向きに検討したい。



垣内秋弘 議員

## 自治功労者制度の見直しを【答】広く意見を聞き制度研究に努める

【質問】

自治功労者表彰制度の趣旨を踏まえ、現在の受賞者は町長、議員が大半であるが、他に自治行政に尽くされた方は大勢いる。基準を見直し対象者を拡大するべきでは。

【答弁(副町長)】

表彰範囲は本町の自治及び公益に関し特に功績顕著な者となっているが、詳細な役職等明記していない。今後、幅広く意見を聞きながら制度研究に努めていきたい。



学力向上をめざす維孝館中学校

【答弁(学校教育課長)】

教員の指導力向上や学習しやすい環境づくり、家庭での学習習慣の確立のため、学校と保護者との連携協働が必要と考えている。

【質問】

いじめ・不登校の現状分析と今後の対応は。【答弁(学校教育課長)】

いじめの重大事態の発生はない。心身に苦痛を感じる内容が小中で77件発生。不登校は減少傾向で6名。生活・学力面で面談を通し最善を尽くす。

【質問】

近隣市町ではタブレット端末が導入されているが本町では。【答弁(学校教育課長)】

平成31年度にICT機

## 学力向上、いじめ・不登校の撲滅を【答】学校と保護者との連携協働が必要

【質問】

学力テストの結果では近年徐々に低下している

が、この結果をどのように分析し、次のステップにつなげていくのか。

平成31年度にICT機



検針のお知らせ・量水器

# 職員の障がい者雇用の増員を

## 【答】法の主旨を理解し、採用を考える

【質問】

先の国会で、中央省庁や自治体の「障がい者雇用の水増し」が批判された。町職員の障がい者雇用の実態は。

【答弁（総務課長）】

本町では、国の基準に基づき、障害者雇用促進

法の規定による障がい者の雇用義務人数は達成している。

【質問】

障がいのある子を持つ親はわが子の将来を心配されている。積極的に障がい者の雇用を増やすことが必要では。

【答弁（総務課長）】

本町では職員の定員管理は、年次計画を作成している。数値目標は、平成30年度に達成してい



山本 精 議員

る。

新たな採用は予定していません。今後については、障害者雇用促進法の主旨を理解し、採用を考える。

## 指定避難所(体育館)に空調を

## 【答】既存の設備を活用する

【質問】

今年の夏は、命の危険がある災害級の暑さだった。指定避難所となっている小中学校体育館や住民体育館で酷暑の中、避難生活が送れるのか。指定避難所に空調を。

【答弁（総務課長）】

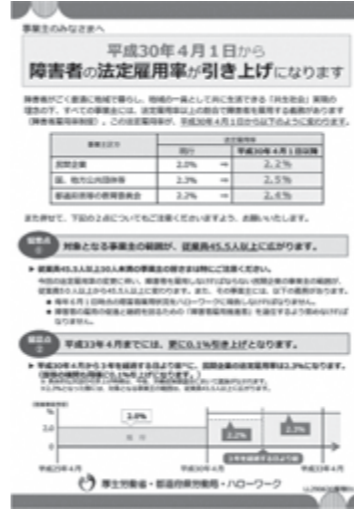
体育館に空調を設置するには、設置費用や電気

代等の費用も非常に高額となる。避難生活が長期化する状況に応じて施設内の空調がある部屋等に

一時的に移動するなど、対応策を考える。

【質問】

指定避難所になっている体育館への空調設置に、総務省「緊急防災・減災事業債」が活用でき



出典：障害者の法定雇用率の引き上げについて(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\_roudou/koyou/shougaisa/04.html)



空調設備が待たれる住民体育館

# 外国人と共生社会の実現は

## 【答】多文化共生の地域づくりが必要

【質問】

外国人宿舎としての空き家活用が増えていくのではないか。地域との関係づくりは、雇用主である事業所が責任を持って対応するのが重要であるが、行政も事業所・関係団体等と積極的な連携が必要である。外国人住民との多文化共生社会を他の地域から学び、実現に向

け取り組みを進めては。

【答弁（総務部長）】

外国人住民の皆さんに

は、言葉や習慣等の違いで、困り事がないよう配慮が必要だが、一方で地域社会を構成する住民として守るべき事柄を理解



馬場 哉 議員

していただけるよう求め、多文化共生の地域づくりを進めることが必要であると考えている。

## 消費税率改正の影響は

## 【答】過去の経緯を踏まえ検討する

【質問】

上下水道料金は、消費税率の改正分を転嫁することだが、2%増税分の経費が増える行政施設使用料や手数料はどうするのか。本来は受益者負担だと考えるが、いっその行政改革で、現状維持ができないか検討して結論を出すべきでは。

【答弁（企画財政課長）】

施設使用料等については、以前から物価の上昇や類似施設、近隣市町との料金設定等を勘案し検討しており、消費税率の引き上げで、すぐに転嫁するものではないと考えますが、国や府の通知や指導に留意しつつ、適切に対応する。

## 宇治田原ICへのアクセス道路は

## 【答】府と共に取り組んでいる

【質問】

平成35年開通予定の新名神高速道路宇治田原インターチェンジには、各方面からアクセスが予想される。円滑な自動車交通の確保や物流の効率化等、インターチェンジ周辺道路は整備効果のみならず、インパクトを最大限に活かした地域づくりができる。これら道路の

供用予定は。

【答弁(まちづくり整備推進部長)】

アクセス道路については、現在、京都府においており、新名神事業をまちづくりの核と考えている本町にとって重要な道路事業。一日でも早い完成をめざし、鋭意取り組んでいる。



新名神高速道路工事 郷之口付近

## 外国人住民人口

(各年4月1日現在)単位:人

区分	総数	韓国及び朝鮮	中国	ブラジル	米国	フィリピン	その他
平成25年	87	18	50	0	3	0	16
26	102	16	63	2	4	1	16
27	129	17	76	12	4	1	19
28	159	15	93	8	4	1	38
29	186	15	103	1	5	1	61

資料：税住民課

外国人住民数(平成29年度統計書より)

# 井山大登さん

新成人を迎えられた皆さんを代表して、実行委員会委員長の井山大登さんにインタビューしました。



## Q. 成人式を迎えての感想は

A. もう成人かという気持ちとともに、成人なんてまだまだ先と考えていた中学時代がよみがえります。短くも長い時間を経て今日を迎えられたのは、いろんな人たちのお陰と痛感しております。ありがとうございます。

## Q. 夢または将来挑戦したいことは

A. 自分の武器を持って田原に帰って来ることです。自己実現と周りの人たちの幸せを達成できる状態が最終目標です。いっぱい考えて、いっぱい悩んで、必ず実現させます。

## Q. 趣味は

A. ギターとバレーと読書です。いろんな本を読んでインプットすることを楽しく感じています。

## Q. 宇治田原町に望むことは

A. 温かく、いつでも僕たちが帰ってこられるまちであって欲しいです。僕たちも次の世代を温かく受け入れられるよう努めます。

## Q. 18歳から既に2年間選挙権を持っておられますが、選挙に対する心構えは

A. 選挙は自分の意思表示の場だと思うので、選挙啓発でもよく目にする『白票でも投票を』という意識が必要だと考えています。自分の票をしっかりと投票していきたいと思っています。



苦勞の多い山林作業

【質問】  
人口減少で給水量が減り、水道事業収益も減収していることから、当年度純利益1千万円強、資

## 【答】経営戦略策定で基盤強化

【質問】  
来年4月1日施行予定の「管理システム」で問題になるのは私有林の管理であるが、町の見解は。

【答弁（町長）】  
林業を取り巻く環境が厳しく、経営や管理が適

## 【答】来年度予算で取り組みを検討



原田周一 議員



水道庁舎

【質問】  
「改正水道法」は事業の基盤強化が目的であり、運営権を民間に長期

【答弁（上下水道課長）】  
水道事業の基盤強化のため、広域連携、官民連携の推進などの「改正水道法」が、今国会で成立した。京都府南部地域の事業体で広域化の検討が始まったが、現状では明確な方向性は未定である。



インタビュー

一般質問





新年献茶手揉み(宗円生家)



宇治田原保育所 発表会



出初式 一斉放水

まちがど  
景点

次回議会の予定  
〈3月定例会〉  
**3月4日(月)開会日**  
詳しい予定はHPにて  
お知らせします。



昨年の「住民と議会の懇談会」の様子

「子育て世代」の声を…  
「住民と議会の懇談会」開催

宇治田原町議会では昨年引き続き「住民と議会の懇談会」を開催します。今回の対象は「子育て世代」の皆さんとし、すでに各団体への参加依頼や一般公募もさせて頂きました。当日は議会からの報告の後、『子育て』にやさしいまちづくり」をテーマに、小グループに分かれて気軽に意見交換や懇談を行っていただく予定です。

- ◆とき 平成31年2月11日(月・祝) 午後2時から4時
  - ◆場所 総合文化センター研修室1
  - ◆参加対象者 子育て世代の皆さん
  - ◆内容 報告「議会での子育てに関する取り組み」
  - ◆第1部 懇談会 ワークショップ
  - ◆第2部 (ワールドカフェ方式)
- テーマ「子育て」にやさしいまちづくり



今回の議会だよりは、新しく選出された広報編集委員によって作成しました。読みやすく、見やすいものとなるようがんばってまいりますので、議会だよりへのご意見、ご感想をぜひ、お寄せください。  
広報編集委員長 浅田

編集  
後記